

平成30年度 前期

# 政務調査研究報告

公明党飯田市議団

報告者 小林真一

## 調査事業

- 1.富山市まちなか総合ケアセンターについて
  - 富山県 富山市 平成30年8月7日 13:30~15:30
- 1.新幹線佐久平駅周辺の土地開発の現状について
- 2.新幹線駅周辺の土地利用、観光産業について
- 3.立地適正化計画について
  - 長野県 佐久市 平成30年8月8日 13:30~15:30

## 富士市 まちなか総合ケアセンター

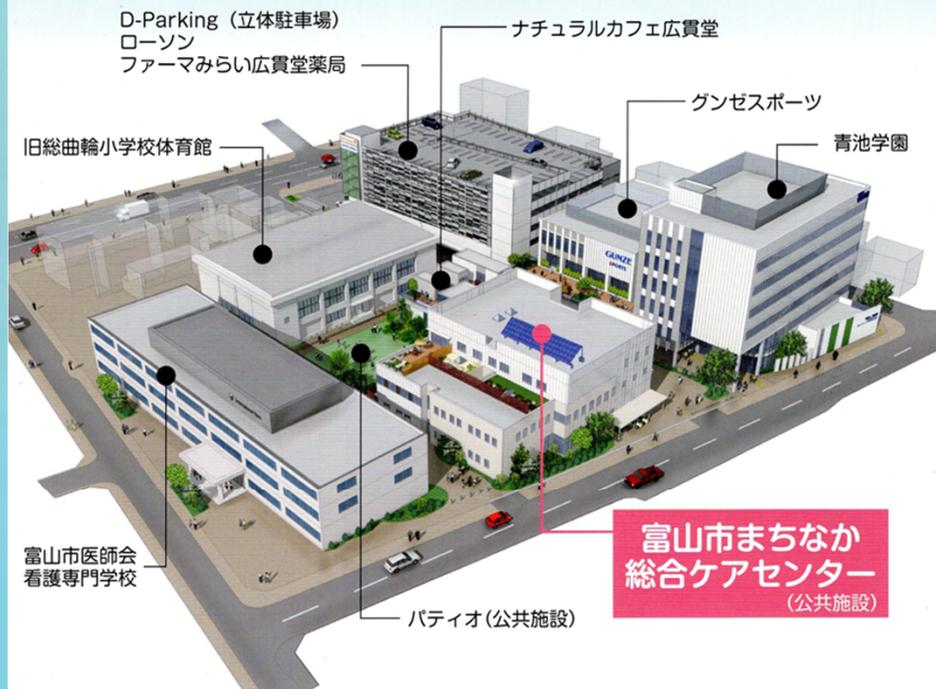
○まちなか総合ケアセンター(多世代・多機能型ケア拠点施設)

子育て支援や、在宅医療、地域コミュニティの醸成などを推進するための事業を展開し、乳幼児から高齢者、障がい者を含む、全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進する。

# まちなか総合ケアセンター



# 総曲輪レガートスクエア



## 富山市まちなか総合ケアセンター

乳幼児から高齢者まで地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進するため、子育て支援や在宅医療等のサービスを一元的・包括的に提供します。



3階	産後ケア応援室	退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行うことで、母親自身のセルフケア能力を高め、安心して子育てができるよう支援する。
	まちなか診療所	地域の在宅医療の振興を目的とした在宅専門診療所。
	医療介護連携室	在宅医療と介護関係者の連携を支援し、在宅療養に必要なサービスの情報提供を行う。
	カンファレンスルーム	医療・福祉・介護関係者との情報共有、意見交換、事例検討等を行う。
2階	病児保育室	子どもが病気等で自宅での保育が困難な場合に、一時的に保育看護する。
	こども発達支援室	成長や発達の遅れが心配されるこどもの相談及び訓練等の支援を行う。
	地域連携室	医療・福祉・介護関係者の連携と質の向上に向けた研修会や市民向けの在宅医療・介護についての知識の普及・啓発活動を行う。
1階	まちなかサロン	乳幼児や高齢者、障害者などを含む全ての住民が利用できる交流スペース、健康づくりや世代間交流を行う。

# 総曲輪レガートスクエア

## ○総曲輪レガートスクエア

中心市街地の4小学校の統合に伴い、跡地を活用。

総曲輪レガートスクエア内の民間施設と共同事業を展開し、行政や大学、企業、NPO 法人地域住民などが一体的、持続的に健康的なまちづくりに取り組む仕組みを創出する事を目指す。

# 富士市 まちなか総合ケアセンター



## 子育て支援①産後ケア応援室

母親お身体の回復と心理的な安定を図るとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、健やかな育児ができるように支援する。

{事業内容} デイケア・宿泊・教室(母親の心身のケア 育児サポート)

{配置職員} 助産師15名(保健師・精神保健福祉士)

{料金} 宿泊1泊2日(24時間)7,200円(基本料金12,000円)

    デイケア1日4,900円(基本料金8,100円)

    教室800円

:産後ケア応援室の利用実績

利用状況(2017.4~2018.3)

事前登録者            実63人

宿泊者数              実78人 延181人(1人平均2.3回、3.9泊利用)

デイケア利用者数    実71人 延207人(1人平均2.9時間)

教室参加者数        77回 延471人

## 乳児保育室の様子





# 子育て支援②病児保育室

{内容}

## 1.病児・病後保育事業

小学校就学前のお子さんが体調を崩し、保護者が仕事の都合等で家庭保育ができない場合、保護者によって保育看護を行う

## 2.お迎え型病児保育事業

全国初となる「お迎え型」を採用

保育所等に仕事で迎えに行けない保護者に代わって、看護師・保育士がタクシーで保育所等に迎えに行きかかりつけ医で受診してから、ケアセンターに連れてきて、看護師・保育士による保育看護を行う。

{料金}

病児・病後児保育 1日2,000円

お迎え型病児保育事業 2,000円+タクシー代の1/4(3/4は国、県、市が補助)

市民非課税世帯は、1回2,500円の補助、ひとり親家族は、1回1,000の補助

生活保護世帯は、1回5,000の補助

:利用実績

登録者数・・・654人

利用者数 ①病児保育事業・・・ 実267人 延821人

②お迎え型病児保育事業・・・ 実 5人 延 7人

# 病児保育室の様子



## 病児保育室の様子



## 病児保育室の様子



## 子育て支援③こども発達支援室

心や心身の発達の遅れが心配されるお子さんの乳幼児期からの相談及び訓練などの支援を行い、障害児とその保護者への切れ目ない支援を推進する

{事業内容}

- ①乳幼児発達支援相談室
- ②発達障害児相談支援室
- ③事業者へのネットワークづくり支援
- ④児童発達支援事業
- ⑤障害児相談支援事業

{利用対象者} 乳幼児期からの発達の気になる子どもと保護者

[配置職種]

保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士、保健師、看護師等

[2017,4～2018,3利用実績 述べ人数] 相談者5,379人 利用者数10,942人

## こども発達支援室の様子



スヌーズレン・・・感覚刺激空間(光・音楽・  
感触など)でリラクゼーション



発達を促す訓練器具

# 在宅医療・介護の推進

{まちなか診療所}・・・訪問診療など在宅医療のみを行う診療所医療が必要になっても住み慣れた場所で暮らし続けられるようサポートする

{対象者}・・・疾病、傷病のための通院困難な方 ・地理的要因または病状等により、他の病院や診療所などからの訪問診療が受けられない方

{スタッフ}・・・医師(総合診療医)3名、看護師3名、社会福祉士1名

{特色}・・・在宅医療のみを行う診療所 ・ 24時間365日往診対応

{在宅医療を推進する6つの取組み}

- ①病院から在宅への移行を推進
- ②地域の診療所等の在宅医療サポート
- ③訪問診療を必要な期間交代
- ④地域の診療所等に紹介
- ⑤研修・実習の場
- ⑥在宅医療の啓発

{在宅医療の推進}

・病院へ在宅での経過を報告・・・より良いケアの提供と患者さんのQOLの向上のためにデスカンファランス(退院後、亡くなった患者の在宅療養生活の振り返り)

・学生・研修医の受け入れ、公的病院看護師の在宅医療体験受入れ(2018～)

・総合診療・在宅診療について研修医に定期的な教育を提供

{在宅医療研修・市民啓発}

{在宅医療・介護の資源情報の提供}・・・富山市の医療と介護の資源情報サイトの構築

## 狭い路地も楽々小型モビリティ



# 地域コミュニティの醸成

## ①人材育成(健康まちづくりマイスターの育成)

- 地域住民や企業、医療・保健・福祉等の専門職を対象に、赤ちゃんから高齢者まで安心して暮らせる健康まちづくりに向け地域で取り組む人材を育成

## ②仕掛け

- 地域住民やボランティア、NPO法人、企業、大学、行政が協働し、多世代が多機能につながる場を創出

## ③活動支援

- NPO法人の「まちスポとやま」が民間と公共の交流スペースを一体的に運営・管理するとともに、スペースで活躍する自主団体の育成・支援を行う

(民間・・・ギャザリング)      (公共・・・まちなかサロン)

# ギャザリングスペースの様子



## ギャザリングスペースの様子



## ギャザリングスペースの様子



## まちなかサロンの様子



## まとめ

・富山市まちなか総合ケアセンターは、ひらかれた地域の健康拠点として総曲輪レガートスクエア内に位置しており、看護専門学校、フィットネスクラブ、調剤薬局、コンビニ、駐車場等があり、様々な世代の方が集える場所となっている、公共施設と民間施設が整備運営することによる相乗効果で、子ども、若者から高齢者まで幅広い市民が集える場所となっていることは、一つの成功事例として視察をした価値があった。

・特徴的な「お迎え型保育」については、国からの許可を得る上で、難しい面もあったようだが、市民のニーズに応える、より仕事と子育てが両立できる社会を目指すうえでは、とても参考になった。

